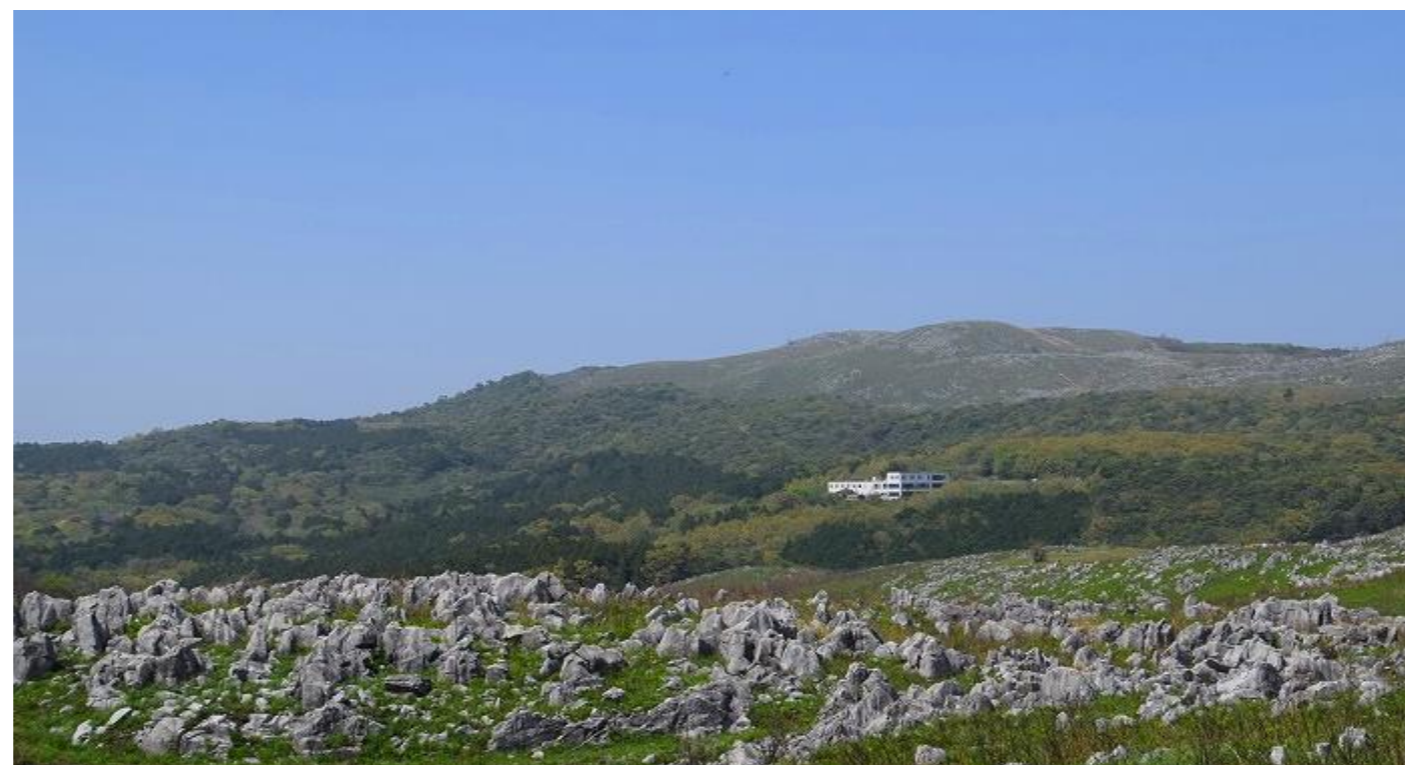


秋吉台 春爛漫のみどり 龍護峰を臨む

秋吉台から臨む山々も新緑に萌えはじめました。ひとことに緑と言っても、黄色っぽいもの、茶色を帯びているもの、また赤味のあるものなどさまざまです。それらを一括まとめて青葉とも言います。青色でもないのに青とは、ちょっと変かも知れませんが、他にも青草、青野菜など緑を青と表現したものが数多くあります。「昔の人たちは緑も含めて青といていたのだろうか。」などと思いながら、ゆっくりと春の陽気を感じつつ秋吉台を散策。そういえば青信号も…。



季節の花 一瞬、誰かが栽培しているものかと…

キバナオドリコソウ 半日かげの林縁などに生える多年草で、大群落になっていることもあります。葉の表面に白い模様があるのが特徴です。初めて見たときは、誰かが栽培しているのではないかと思いました。
シヤガ 林の中など少し薄暗いところでしばしば群生している多年草。花は淡い黄色や紺色の模様があり綺麗です。開花時期は雨の日が多く、いつも雨にぬれている印象があります。

タカサゴソウ 日当たりの良い草地に生える多年草。秋吉台ではよく見られるのですが、他所ではあまり見かけません。秋吉台では草原よりもカルストロード沿いの、それも限られた所に咲いています。また開花している時間帯も限られており、雨の日などは花は閉じたままです。



観察会「化石採集体験」(4月7日) 大正洞桜まつり同時開催

大正洞桜まつりと同時開催で「化石採集体験」を行いました。満開の桜の花びらが舞う中、参加者たちは重いハンマーを振り下ろして、硬い石灰岩を叩いて割ります。手のひらほどの大きさに割った石灰岩を希塩酸に1分ほど浸して、表面の汚れなどを落として水で洗います。そうすることで化石がより鮮明に確認できます。今回はフズリナや腕足類の化石が採取され、標本としてそれぞれ持って帰りました。



見学会「旧大田演習場跡の塹壕を見に行こう」(4月13日)

旧大田演習場跡の塹壕などを見学しました。長者ヶ森駐車場から姫山方面、冠山方面へとまわりました。姫山付近には細長く蛇行した塹壕の跡が数ヶ所にわたって確認できます。この辺りは露出した石灰岩も少なく、展望も良好なので訓練をするには適していたものと思われます。この辺りはこれらがたくさん構築されていたことから、数年あるいは数回にわたって使用されたのでしょう。今回では小銃弾の弾頭や空包用の薬莖が見つかりました。



キエビネ

来年も見られますように

落ち葉の多い林内などに自生する多年草です。エビネの中では全体に大きいのでオオエビネの別名もあります。薄暗い林内でも鮮やかな黄色い花が、遠くからでもよく目に入ります。先日車で通りがかった林道からは、狭い場所に十数か所に咲いていました。今まで何度もここを通ったのに気が付きませんでしたし、よく無くならなかったものだと嬉しくも思います。今後もずっと見られることを願います。そういえば、広島の人知人がキエビネを大変珍しがっていたのを思い出しました。



5月の行事

5月3日(金) 観察会「カエルが待っている」
田んぼのビオトープに出かけてカエルを観察しましょう。